

## 第2回和光市地域公共交通会議

### 委員意見概要及び事務局見解

第2回和光市地域公共交通会議において、各委員から提出された意見概要と事務局見解を項目ごとに集約いたしました。なお、類似の意見や関係する意見等についてはまとめたうえでの掲載となっております。

#### 地域公共交通計画に関する事項

意見概要	事務局見解
地域公共交通計画の策定期間及び上位計画との整合性について教えてほしい。	計画策定期間は概ね5年を予定しています。また、上位計画である第五次和光市総合振興計画等と整合性が図られた計画とし、現在改定作業中の都市計画マスタープランとも互いに連携した計画となるよう策定いたします。
地域公共交通計画の策定において、ウィズコロナ時代とアフターコロナ時代のどちらを想定したものとするのか。	アフターコロナ時代を想定したものとします。
市内循環バス等の地域公共交通は地域の移動手段としての役割だけでなく、健康や経済促進施策の面もあるという視点も重要である。	運賃収入だけでなく、福祉面や経済面などの波及効果を考慮した目標設定や定期的な評価を行ってまいります。
地域公共交通計画の素案作成や最終的な計画決定はどのような流れで行われるのか。	公共交通政策室にて計画素案作成のうえ、地域公共交通会議にて審議して頂きます。その後、パブリックコメントによる市民意見の募集を経て、最終的には和光市長により決定されます。
高齢者や障害者、子育て世代といった方々の意見を可能な限り汲み取り尊重し、会議や計画策定に活かすべき。	移動に不便を感じている方々の需要や困りごとを汲み取るための調査を行うとともに、それらの調査結果については計画策定に活かしてまいります。

#### アンケートやヒアリング等、調査実施に関する事項

意見概要	事務局見解
アンケート内容が長く、回答が難しいのではないかと。	多様な移動傾向把握の為、一定のボリュームとなることをご理解ください。
アンケート配布数が少ないのではないかと。	第五次和光市総合振興計画策定の際のアンケート（3,000人対象）を参考にしており、適切な配布数であると認識しております。また、今後、調査すべき課題等を整理のうえ、それぞれの課題に適した団体等への協力依頼についても検討いたします。
福祉や子育てなど、市内の市民団体等に対してもヒアリング等の調査を行ってはいかがか。	地域公共交通計画は定期的な評価が求められます。計画策定後、定期的な調査等により、継続的な効果測定を行います。また、計画推進に係る事業については公共交通政策室にて担うとともに、他部署に係る事業についても十分な連携を進めてまいります。
この度のようなアンケートは今後も継続し、計画の見直し等に活用するのが望ましい。	
効率の良い交通手段や利便性、環境や安全配慮等、市の公共交通に係る事業の継続的な管理の為の機能や組織の在り方も検討してはいかがか。	

#### 具体的な交通手段に関する事項

意見概要	事務局見解
ドアツードアの交通手段であるタクシーの特性を活用していただきたい。	タクシーも含め、多様な公共交通についてそれぞれの特性を活かした連携や効率化等について検討いたします。
タクシー業界も減収が多いと聞く。タクシーの利用促進施策により、事業者と利用者の双方にとってメリットがあるのではないかと。	
現在の循環バスは座れないほど混雑する便や全く乗客がない便がある等、需要に適した地域公共交通となっていないのではないかと。またダイヤやコースの関係で、使いたくても使えない人も存在しているようだ。	現状の課題や需要等を整理のうえ、利便性の高い計画となるよう策定いたします。また、定期的な評価検証により効率的な地域公共交通網となるよう事業を進めてまいります。
コースや時刻表、便数の見直し等、循環バスの利便性が向上するのであれば、無料乗車制度の有料化も考えられる。	運賃や無料乗車証の取扱いのほか、コースや時刻表、便数についてもアンケート結果やバスの乗降数調査等を参考に、利便性や効率性の高い運行計画について検討いたします。

その他の事項

意見概要	事務局見解
「協議会」、「分科会」の具体的な構成と役割はいつどのように作られるのか。	「協議会」は交通事業者や行政関係者、市民、有識者等で構成される「和光市地域公共交通会議」を表しており、地域公共交通計画策定や同計画の推進に係る協議を行います。「分科会」の構成員は交通事業者であり、市民意向調査や課題集約に併せ、事業者目線での意見交換や課題整理をいたします。
「市民研究会」の構成と役割はどのようなものか。	「市民研究会」は公共交通利用者である市民の方と市内公共交通に関する意見交換やワークショップ等を行う場です。現状課題の整理の他、地域公共交通が利用者にとって身近な存在となることも期待しています。
未来技術地域実装協議会とはどのようなものか。	未来技術地域実装協議会は、和光市駅と外環道新倉PAを中心とした拠点間を連絡する自動運転サービス実現のため、国交省や警察庁等の行政機関や学識者、民間事業者等と構成した協議会です。自動運転サービス本格実装後は地域公共交通として活用を予定していることから、当協議会の検討状況等についても情報共有してまいります。
必要なデータを蓄積・整理して使いやすいデータベースを構築して、便利な公共交通利用の仕組みを明らかにしていくことが重要と思う。	公共交通に係るデータの整理や公開についても、オープンデータ化を含め、効果的な活用の仕組みを検討いたします。